

平成29年第4回木津川市議会定例会（12月14日）

一般質問通告書

1 谷川 光男	
質問事項： 保育サービスを目指す対策は十分か	
質問 要 旨	<p>家族形態の多様化や少子高齢化による労働人口の減少など、社会情勢の変化により、子育て家庭を取り巻く環境は変化している中、木津川市は、待機児童が本年4月1日現在「ゼロ」と聞いています。共働き家庭が増えて、保育ニーズが高まっている中、1～2歳児を預ける施設が全国的に足りない状況であると報道されていますが、市の現状と取り組み等について、伺います。</p> <p>(1) 平成29年4月開設の幼保連携型認定子ども園「藍映学園」の現在の入園状況および来年度入園の応募者数は。</p> <p>(2) 現時点における待機児童の実態は。また、隠れ待機児童数の実態と対策は。</p> <p>(3) 平成30年度待機児童の見込み数は。</p> <p>(4) 3歳未満の家庭的保育事業等の運営事業者の実態と市の取り組みは。</p> <p>(5) 保護者の就労形態に見合った市の対策は。 (例えば、日曜日・祝日の対応等の考えは)</p>
質問事項： 災害を未然に防ぐ対策は（パート3）	
質問 要 旨	<p>本年10月21日～22日にかけて、近畿地方に接近した台風21号により、洪水・暴風警報発令、避難準備、避難勧告・避難指示がなされ、43世帯90人の方が避難されましたが、幸いにして人的被害がなく、良かったと思っています。</p> <p>そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 今回、台風21号による防災行政無線の音声伝達状況は、良好であったのか。</p> <p>(2) 内水排除のために購入された移動式可動ポンプの使用状況は。</p> <p>(3) ハザードマップの山城地域洪水標識板設置について、国土交通省は、今年度実施される見込みなのか。</p> <p>(4) 国土交通省が公表された「家屋倒壊等氾濫想定区域」における対象世帯への対策は、進んでいるのか。</p> <p>(5) 今年度予算計上されている戸別受信機の申請状況は。</p>
質問事項： 住宅付近の農地雑草対策は	
質問 要 旨	<p>近年、農業従事者の高齢化と農業経営後継者不足により、毎年生じている耕作放棄地の農地について、農業委員会が中心となり、実態調査をして所有者に草刈り等の指導をされているとお聞きしますが、12月に入った現在、草刈りもされず放置されている農地をよく見受けられます。冬期シーズンになりますと雑草は枯れた状態となり、環境面にも、また、タバコのポイ捨て等により、火災の原因にもなりかねます。</p> <p>そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 耕作放棄地（約49.1ha）の土地所有者への指導通知後の現地確認等は、どうされているのか。</p> <p>(2) 土地利用状況調査アンケート結果により、今後の市の取り組みは。</p>
質問事項： 本年度の事業執行等の見通しは	
質問 要 旨	<p>今年度も残り少なくなり、昼夜、安心安全なまちづくりと快適な生活環境の向上を目指し、市長を先頭に職員が一丸となって、事業執行や課題の解決に努力されていると思いますが、本年度予算の執行状況について、伺います。</p> <p>(1) 本年度の予算執行は、繰り越しなくできるのか。</p> <p>① 大平尾神童子線道路拡幅に伴う用地取得は。</p> <p>② 木津高校へのアクセス道路の詳細設計は。</p> <p>(2) 国と市が協力して実施されている国土交通省関係事業の国道24号線歩道設置事業の「木津地区」が工事に着手されたが、用地買収は完了したのか。また「北河原地区」は動きがないが、用地交渉は進んでいないのか。</p>

2 西岡 政治	
質問事項： ごみ収集方法の統一と資源化対策等は	
質問 要 旨	<p>現在、審議中の家庭系可燃ごみ有料指定袋制については、平成30年10月1日の導入に向け、市民に対し、小学校区ごとの説明会や広報、ホームページ、出前講座形式による説明会が行われてきました。</p> <p>議会においても、議会基本条例に基づく議会報告会、公聴会を開催し、市民よりごみ有料化に対する意見を聞くことができ、また、ごみの減量化、資源化、ごみ収集方法等について、市民の関心が高まったと思います。</p> <p>私は、9月定例会の一般質問において①市民への周知や啓発②ごみの収集方法の統一③バイオマスによる生ごみや草木の資源化についての質問を行いました。①③についての必要性は、理解されたものの「今後検討する」との答弁でした。</p> <p>9月定例会終了後、行政が実施した住民説明会および議会報告会、公聴会での市民の意見や思いを踏まえ、市の実行性が担保できる具体的な方策や取り組みが求められています。</p> <p>そこで、条例の一部改正に対する結論を見いだすため、次の事項をたずねます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ごみの拠点収集の統一化に向けた方策と取り組みの考えは。 (2) 庭木剪定・草木ごみの資源化方策と取り組みの考えは。 (3) 生ごみ（厨芥類）の資源化方策と取り組みの考えは。 (4) 家庭系可燃ごみ有料指定袋制の実施前に、積極的な説明会を開催すべきと思うが、市の考えは。
質問事項： JR棚倉駅・上粕駅の環境改善を	
質問 要 旨	<p>第1次木津川市総合計画後期基本計画および都市計画マスタープラン後期計画では、「地域内の老朽駅舎（JR棚倉駅・上粕駅）の改築やバリアフリー化の促進」、「市民の身近な公共交通機関としての利便性の向上を促進する」と定めています。</p> <p>JR奈良線沿線自治体である井手町・城陽市では、JR奈良線複線化を見据え、駅舎等の環境改善が進められています。</p> <p>しかし、JR棚倉・上粕両駅の改築は合併後手付かずであり、また、両駅の利便性の向上と安全で明るい駅にするために行われていた有人営業時間が、平成29年度から7時間から3時間に短縮されました。</p> <p>私は、JR奈良線複線化（部分複線化を含む）の促進に向け、市がJR棚倉・上粕両駅の環境改善に取り組む姿勢をJRに示すべきとの考えから、次の事項をたずねます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) JR上粕駅のトイレの洋式化とバリアフリー化を。 (2) JR棚倉・上粕両駅の有人営業時間の延長を。 (3) 乗客の利便性向上対策（乗車ホームの一本化）の検討を。 (4) JR棚倉駅舎の改築と利活用の検討を。

3 倉 克伊	
質問事項： 市内の安全な道路確保のために	
質問 要 旨	<p>市内には、開発に伴う道路網や、交通渋滞の緩和や災害時の安全確保や代替のための道路など、市道はもちろんのこと、国や府の協力を得ながら計画的に道路整備が進められていることは、市の発展に寄与し、大いに期待するところです。</p> <p>しかし、市内には事故が多く、危険な箇所が多いのも事実です。</p> <p>そこで、市民から寄せられた質問の中から、山城地区内の問題の箇所について、お聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市内には多くのカーブミラーがあるが、晩秋から冬の時期になるとミラーが曇り、大変危険な場所が多く発生する。市は調査をし、改善すべきと考えるが、どうか。 (2) 椿井バイパスは、開通以来J A京都やましろ山城支店西側の交差点で事故が多発しているのは、周知のとおりである。原因の分析と、その解決に向けた取り組み状況は。 (3) 府道上粕城陽線の天神川橋や不動川トンネルの拡幅などの工事が進んでいないが、現在、整備計画は、どのようになっているか、府の考え方は。

質問事項： 子育て支援のあり方について	
質問要旨	<p>河井市政は、子育て支援No.1を掲げ、待機児童の解消、子育て地域拠点整備事業（つどいの広場や子育て支援センター）、第3子無償の所得制限撤廃など、合併以来、さまざまな施策を通して努力をされてきたことに評価をします。</p> <p>しかし、合併前の旧3町の施策との差に違和感がある子育て世代の保護者もおられることも事実です。今回、その方たちからの疑問や意見をもとに質問をいたします。</p> <p>(1) 育児休業中の保育の認定要件について、育児休業対象児の年齢要件の引き下げなどの見直しの考えは。</p> <p>(2) 今進めている市内の公立保育園の認定こども園への移行を、もっとスピーディに行うべきではないか。</p> <p>(3) 業務の幼保一元化することで、メリット・デメリットはあると思うが、利用する市民のためには、一元化した担当課の設置が必要と考えるが、どうか。</p>

4 森本 隆	
質問事項： 市のインバウンド政策は	
質問要旨	<p>国の戦略的な観光政策の大胆な改革により、アジア諸国からの観光需要は中長期的に増加していく予定である。特に、関西では関西国際空港にLCCの航空会社を誘致したことにより、大阪に来る外国人は、2011年に158万人であったものが、2016年には940万人と5年で約6倍となっている。</p> <p>今後、2019年のラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック、2021年関西ワールドマスターズの開催に合わせて、今後も関西への外国人観光客は増えると予想される。</p> <p>また、昨年3月に国が策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」では、世界が訪れたい日本を目指して、インバウンドを取り込むための「3つの視点」と「10の改革」が明示されている。</p> <p>以上の背景の中、市のインバウンド政策について、質問する。</p> <p>(1) 市の外国人観光客は、増えているのか。インバウンド政策の現状と課題は。</p> <p>(2) インバウンドの観光客を受け入れるための交通網として、関西国際空港からの空港バスが重要であるが、現在、市内の駅からの関西国際空港行きのバス便がない。市のターミナル駅であるJR木津駅、近鉄高の原駅に関西国際空港行きのバス停を設置することはできないのか。</p> <p>(3) インバウンドの消費を取り込むためには、特産品を販売できる市内のベンチャー企業の育成が重要だと思うが、ふるさと応援事業補助金で育成している団体の成功事例はあるのか。あればその内容はどのようなものか。</p> <p>(4) ベンチャー企業の次のステップとして、B to Bの取り組み、海外事業展開等をサポートして、販路を拡大する取り組みにすべきと思うが、市の考えは。</p>
質問事項： 教育行政の新しいチャレンジをたず	
質問要旨	<p>文部科学省が作成した第2期教育振興基本計画（平成25年度～平成29年度）では、「自ら学び、考え、行動する力を育てる」「新たな価値を創造する人材・グローバル人材を養成すること」等を目標に進められている。小中学校の取り組みについては、府・市の緊密な連携が必要と考える。最終年度となる今年度の取り組みとして、府・市の教育行政の新しいチャレンジについて、次の内容を質問する。</p> <p>(1) 「新たな価値を創造する人材を育てること」を目標に、平成30年度より、府立南陽高校に附属中学が設置され、府立の中高一貫校が市内に設置される。市教育委員会として、府立中高一貫校の影響をどう考えているのか。また、中高一貫校の特長であるグローバル人材の育成について、市の中学校でも新しく取り組める内容はないのか。</p> <p>(2) ICT教育の設備設置状況と活用状況は。</p> <p>(3) ICT教育は、「自ら学び、考え、行動する力を育てること」の目標達成のために有効なツールになると考えるが、今後のビジョン、展開はどう考えているのか。</p>

5 伊藤 紀味枝

質問事項： 小川・反田川流域に住む市民に安心を

質問
要
旨

- 平成29年10月の台風21号による被害は、またしても各地に大きな爪痕を残しました。平成25年の台風18号による浸水被害から、たった4年での今回の浸水被害は、住民の心労・不安は言葉に言い尽くせません。
- また、今年は「九州北部豪雨」や「台風5号」などが、日本各地に甚大な災害を与えました。今後、台風の大型化や頻発しているゲリラ豪雨などで想定外の降雨が心配されます。そこで、内水対策について問います。
- (1) 排水ポンプの増設をされたにも関わらず、4年前と同じような浸水被害が起きた。市は、分析をしたのか。
 - (2) 木津合同樋門流域エリアは、小川流域（210ha）と反田川流域（236ha）があり、他の樋門に比べて、流域面積に対して排水ポンプが少ないと認識しているのか。
また、最低どれぐらいの排水ポンプ能力が必要と考えているのか。
 - (3) 台風21号時に国土交通省の排水ポンプ車の設置があったが、フェンスが邪魔をして、ホースの置き場がなく、建設業協会の方が切断しての作業となった。水路の拡大整備は考えているのか。
 - (4) 平成26年9月定例会において、「リサイクル研修ステーション北側で、反田川から井関川へ放流しては」との一般質問を行ったが、建設部長の答弁は「京都府と相談をしたが、下流域の諸問題があり、流域を変えての放流はできない」とのことであった。この方法が費用対効果から見ても一番効果的と考える。再考の考えは。
 - (5) 小川は市の中心部を流れており、行政機関・医療機関・公共交通機関・教育施設等が集中しており、ライフラインとして、市道335号の整備が急がれる。
また、接道の国道24号や国道163号、府道天理加茂木津線の整備は。
 - (6) 職員方の懸命な復旧作業や努力により、被災された住民の心労などは、少し緩和されたように思う。職員の方の心身のケアは、市は十分されたと思うが、状況は。

平成29年第4回木津川市議会定例会（12月15日）

一般質問通告書

1	柴田 はすみ
質問事項：住宅セーフティネット制度の活用を	
質問要旨	<p>民間の空き家・空き室を活用し、住まいを確保することが困難な高齢者世帯や障害者世帯、子育て世帯、低額所得世帯等いわゆる「住宅確保要配慮者」と言われる方々の入居を支援する、改正住宅セーフティネット法が本年4月に成立し、制度の運用に向けて準備が進められている中、10月には新たな住宅セーフティネット制度がスタートしました。</p> <p>新たな住宅セーフティネット制度は、住宅確保要配慮者の増加が見込まれる一方で、全国的に増加している空き家・空き室を活用し、住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅として、都道府県などが登録を受け、総合的に入居を支援していくというものです。また、この制度は、登録賃貸住宅に対して、バリアフリー化や耐震改修に必要な費用の一部を補助したり、所得の低い人や保証人を見つけることが難しい方でも入居できるよう、家賃補助や家賃債務保証料を支援することが含まれています。</p> <p>今回の制度の背景には、さまざまな課題もありました。人口減少や高齢化に伴う世帯数の減少により、全国の空き家・空き室は増加傾向にあります。地方自治体の公営住宅は応募倍率が高いため、希望者が入りたくても入れないという現実があり、公営住宅の倍率は全国平均で、5.8倍、特に大都市では東京が22.8倍、大阪で10.5倍に達する等、入居できない世帯が多くなっています。</p> <p>そこで、何点か質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市営住宅募集に対する応募状況と直近2年間の倍率は。また、現状をどう認識しているか。 (2) 住宅確保要配慮者がおられる場合の対策は。 (3) 府において、居住支援協議会があるが、市の相談窓口は。 (4) 今回の制度は、いかに空き家・空き室を登録していただくかがカギ。現在進めている空家バンクの状況は。また、定住促進の観点からも空家バンクにより入居された方に対して、補助制度の考えは。
質問事項：さらなる災害対策を	
質問要旨	<p>昨今、全国的に予測不可能な災害が多く発生しています。市としても市民の安心・安全のため防災行政無線の整備や樋門の改修工事等いろいろと取り組んでいただいておりますが、さらなる災害対策を進めていく上で、次の3点について質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 被災時には、その初期段階および避難所において、飲料を確保することが重要であると考えます。災害時に被災者に対し、無料で飲料を提供できる災害支援型自動販売機があり、各地方自治体においては、災害時に、被災者に飲料を提供することを目的に、飲料メーカーと「災害支援協定」を進めている。 <p>そこで、質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 現在、災害支援型自動販売機の「災害支援協定」を2つの事業所と締結され、市役所本庁舎敷地に設置しているが、避難所となる施設にも設置を進めていくべきと思う。その考えは。 ② 紙コップ式の自動販売機が、災害時には有効とされているが、どうか。 (2) 下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレが確保できるマンホールトイレを設置する考えは。東日本大震災や熊本地震で使用され、全国的に広まっていると聞かすが、いかがか。 (3) 整備が完了した防災行政無線について、市民からいろいろな声がある。どう改善していくのか。

質問事項： ごみ削減を進めるには	
質問 要 旨	<p>平成29年3月定例会の会派代表質問で、ごみの削減や収集方法の質問をした際、市長から「一般廃棄物処理基本計画や、ごみ減量化推進計画『もったいないプラン』に基づいて、取り組みを進めてきているところであるが、市民1人当たりの家庭系ごみの排出量は横ばいで推移していることから、これまで検討課題であったごみの有料化を含め、「廃棄物減量等推進審議会」に審議をお願いし、これまでの減量施策の強化とともに、負担の公平化、市民意識の改革などごみの有料化について検討するよう答申をされた」との答弁でした。</p> <p>その後、9月定例会で提案され、市民説明会、議会報告会、公聴会とさまざまな場所で市民の意見を伺ってまいりましたが、まだ議会として結論が出ていない状況にあります。</p> <p>そこで、ごみ袋有料化のほかに、市として、ごみ減量の目標達成のため、具体的にどう努力していくのか、これまでの答弁と重なるかも分かりませんが、改めてお聞きします。</p> <p>(1) ごみの分別方法については、「ごみ分別区分早見表」を各戸配布されているものの、まだ理解できていない方もあるように思われる。市職員が地域に出向いて、出前講座をするなど、その対策は考えておられるのか。</p> <p>(2) 戸別収集と拠点収集の地域は従来どおりか。</p> <p>(3) ごみ減量化への市民意識改革のために、どう努力していくのか。</p>

2 森本 茂	
質問事項： ごみ袋有料化の再検討を	
質問 要 旨	<p>政府は11月28日、11月の月例経済報告を発表し、国内の景気は緩やかな回復基調が続いているとの判断であるが、シンクタンクのアジア太平洋研究所（大阪市）は同日、2017年度の関西の実質域内成長率が、前年度比1.8%の増（8月の前回予測から0.1ポイント引き下げた）に下方修正されました。</p> <p>アベノミクスによって、企業の設備投資や生産が持ち直し、賃金が上がり、デフレ脱却に向かうとしているが、いまだ地方には、その効果が実感できていない状況であります。</p> <p>また、経済協力開発機構（OECD）が同日発表した世界経済見通しによると、日本の実質国内総生産（GDP）の伸び率は、2018年が前年比1.2%、2019年は1.0%と、2017年推計の1.5%から経済成長が減速するとしています。日本経済は、労働市場の逼迫で賃金が徐々に上がって個人消費を下支えするものの、2019年10月予定の消費税率引き上げが景気下振れリスクになるとの指摘があります。</p> <p>このようなことから、家計が楽になるとの先の見通しが、見えてきません。</p> <p>特に、生活困窮者や障がい者、高齢者世帯や子育て世帯の方々に、今以上に出費が増えるような施策（新たな負担）は、考え直すべきです。</p> <p>市長のご見解をお伺いします。</p> <p>次に、ごみ減量施策の起点となる平成21年度は、本来事業系であるべき44カ所の公共施設と学校給食センターのごみが算入されている。また、平成30年からはビニール・プラスチックごみが、燃やすごみと同じ分別区分になります。</p> <p>よって、平成31年度を起点にして、ごみ減量化をどう進めるべきかを考えるのが正当だと思えます。</p> <p>市長のご見解をお伺いします。</p> <p>そして、ごみ減量化をさらに20%進めるために、ごみ袋有料化が今、必要だと言われていますが、その前にやるべきことがあります。</p> <p>この条例提案によって、市民の方々はごみ減量化の必要性に大いに気付いたと思います。目的は、ごみ減量化ですから、今まで市民に浸透していなかったごみ減量化に、大いに取り組もうではありませんか、市長。</p> <p>その第1が、生ごみの水切り運動。</p> <p>第2が、雑紙のリサイクル運動。</p> <p>第3が、ダンボールコンポスト運動だと思います。</p>

<p>質問要旨</p>	<p>これを大いに市民にアピールして、ごみ減量化運動を進めましょう。 市長の見解をお伺いします。</p> <p>また、広域でごみ処理に取り組んでいますが、ごみ袋有料化の西部塵埃処理組合での取り組みについては、市長は、どのようにお考えか、お聞きします。</p> <p>そして、地域温暖化も考慮して、ごみ袋有料化と市長は言われています。</p> <p>それなら、今後、香川県三豊市のように、生ごみなどの有機性廃棄物が発酵する原理を利用した、可燃性の一般廃棄物を固形燃料原料にする「トンネルコンポスト方式」の処理技術は、微生物を利用したものである。このような取り組みも必要になってくるのではないかと考えますが、市長のお考えをお聞きします。</p> <p>そして、最後に、平成30年10月からは新クリーンセンターで、ごみ処理をするため、これまで民間委託をしていたごみ処理費の約2億5千万円が不要となります。私の試算では、新クリーンセンターでのごみ処理費の見積もりは、運営経費が約5億5千万円で、その66.34%が木津川市の分担金となり、3億6千万円となります。今までの相楽郡西部塵埃処理組合への分担金約1億6千万円と、民間へのごみ処理費約2億5千万円を合計すると約4億1千万円となり、そこから、新クリーンセンターでの分担金を差し引きますと、約5千万円の差額が見込まれると考えます。</p> <p>市長のご見解とこの差額の使い道（施策）について、お伺いします。</p> <p>私は、ごみ袋有料化を一旦やめて、この資金を活用して、ごみ減量化運動をもっと大きく進めていくべきだと考えます。市長のご見解をお伺いします。</p>
<p>質問事項： 台風21号被害を踏まえ減災の根本的対策は待ったなし</p>	
<p>質問要旨</p>	<p>本年10月21日・22日・23日の台風21号によって、住宅の被害として、床上浸水1軒・床下浸水11軒、また、倉庫や工場の浸水被害が6件発生しました。経過は、22日午前10時35分洪水警報発令、午後1時7分木津合同樋門閉鎖、午後3時23分暴風警報発令、午後5時40分市内全域に避難勧告が出されました。午後6時頃木津南後背川のJRガード下が冠水。午後9時24分木津合同樋門内水で冠水、午後10時30分木津神田区域に反田川の水が逆流、道路が冠水、午後10時32分市内全域に避難指示（緊急）が出ました。午後10時40分木津小北側道路冠水、午後11時15分加茂町勝手神社から30m付近で落石があり、府道天理加茂木津線が午後11時50分通行止めとなりました。23日午前0時山城地域の大川～上狛川が浸水し、椿井バイパス（府道）が浸水、午前0時15分加茂町大野地内において浸水、午前0時40分木津下川原団地付近にて南後背川が越水、午前1時50分木津南後背付近にてひざ下30cmほど浸水し、通行規制やコーン等の設置が行われました。避難の状況は、43世帯90人でありました。そして、木津合同樋門は、23日午後2時40分にやっと開放されました。</p> <p>職員においては、土のう設置や住宅浸水被害宅の床下に入っの水のかい出しや、室内の後片付けを献身的にされていたことに対して、市民を代表して感謝と御礼を申し上げます。ご苦労さまでした。市長は、この件に関して、どうお感じですか。</p> <p>台風の当日、木津合同樋門に追加増設として、自前の排水ポンプ車1台と、国交省からの応援の排水ポンプ車1台の計2台で、60t/分で木津川へ排水、かい出しを行いました。浸水が起こる事態となりました。あと何台で排水すれば、防ぐことができたとお考えなのか、お伺いします。</p> <p>また、この場所では限界があるならば、小川系・反田川系・南後背川系の根本的な解決策と、対処法策（早期暫定策）を、どのように市長は、お考えなのかお伺いします。</p> <p>そして、向日市や長岡京市で府が行なっている、桂川右岸流域下水道雨水対策事業の「いろは呑龍トンネル」のような事業等の具体策を本市でも早期に打ち出し、府や国に事業認可を受けて、進めていただきたい。内水対策問題の解決については、長年の懸案事項であり、市と市議会上げて解決に向けて、市長の取り組みに全面的に協力するものです。市長のご見解をお伺いします。</p> <p>最後に、今回、床上・床下浸水被害に遭われた方々は、4年前の平成25年の台風18号でも同じ被害に遭われています。今回から何らかのお見舞金を支給すべきと考えますが、市長のご見解をお伺いします。</p>

質問事項： 城山台地区の交通安全対策の点検を	
質問要旨	<p>本年10月10日に、城山台11丁目地内で乗用車と単車の事故がありました。自動車は西に向けて走行、単車は北に向けての走行で、交差点での出会い頭の事故であり、単車の方が重傷でドクターヘリで運ばれ、命は助かったとのことです。事故の原因は不明ですが、現場には、止まれの標識が両方の道路に設置されています。</p> <p>城山台地区内には多くの道路があり、自動車、単車、自転車は、細い道から太い道に出る時は、一旦停止もしくは徐行をして、太い道に入るようにすべきであるにもかかわらず、同じスピードでそのまま進入される方もおられるとのことです。</p> <p>城山台地区の他の場所でも、今までに何度も事故が起きていると市民の方からも聞いています。運転手のマナーもさることながら、本市が進めている交通安全対策と注意喚起策をお聞きします。</p>

3 酒井 弘一	
質問事項： 幼稚園と小中学校のエアコン設置	
質問要旨	<p>教育委員会は、幼稚園と小中学校の全教室にエアコンの設置を進めるための方法を探ってきた。そして先日、PFI手法がベストとの検討結果が出された。</p> <p>(1) PFI手法による具体的な説明を求める。また、他の手法と比べて、何が有利なのか説明を求める。</p> <p>(2) 今後、事業者を決定し、契約・着工と進むが、幼稚園児や小中学生がエアコンの恩恵を受けるまでの詳しい日程を説明されたい。</p> <p>(3) これら一連の過程において、市民に情報を公開し、決定の透明化が求められる。市はどのように透明化を図ろうとしているか、明らかにされたい。</p>
質問事項： 台風21号による災害	
質問要旨	<p>今年10月に発生した台風21号によって、各地に道路や崖崩れなどの被害が発生した。一方、内水排除能力の強化によって、合同樋門付近の浸水被害は減少したものの、予想外の場所で浸水被害が起きた。</p> <p>(1) 被害の実態を住宅、非住宅、道路や水路、崖や法面等に分けて明らかにされたい。</p> <p>(2) 市は5年前から住宅の床上浸水や住宅の半壊以上の災害に見舞金を支給している。5年間の実績を明らかにされたい。</p> <p>(3) この見舞金は、非住宅や工場は対象とならない。それらの被害に対して、何らかの補償や見舞金を考えるべきではないか。</p>
質問事項： もっと便利なコミュニティバスを求める	
質問要旨	<p>コミュニティバスの使命は、交通機関の空白地をなくすことにある。</p> <p>(1) 交通機関の空白地は市内にはあると思うが、市長の認識はどうか。また、その空白地をなくす取り組みは進んでいるか。</p> <p>(2) きのつバス料金を7年前の議会決議を尊重して、100円に戻すべきと考えるがどうか。また、山城地域や加茂地域の住民が求めている、もっと便利で使いやすいバスをとの願いにどう応えるか。</p>

4 九社前 隼朗	
質問事項： 学校給食・中高一貫校等の課題を問う	
質問要旨	<p>1 学校給食の課題について、以下の点を問う。</p> <p>(1) 教育委員会は、10月2日付で幼稚園の保護者宛てに「幼稚園への学校給食の提供について」のお知らせを配布された。</p> <p>市のホームページに掲載されている、本年9月29日（金）教育委員会の会議録を見ると、木津学校給食センターの調理能力が超過するという理由から、幼稚園給食の休止について、検証したと記録されている。検証した結果、①2年間の給食休止②山城学校給食セ</p>

質問要旨	<p>ンターから配送している高の原幼稚園も給食休止③平成30年度から弁当持参が記載されているが、問題となるのは、木津学校給食センターである。</p> <p>次年度は、幼稚園給食を続けるよう方針転換がなされたことは評価するが、平成31年度以降も現状維持の給食が提供できるよう方向性を示すべきではないのか。</p> <p>(2) 園児や児童生徒数の増加が、見込みを上回る傾向にあると聞くと、平成27年度の国勢調査結果では、本市は府下人口増加率ナンバーワンである。</p> <p>事前に調理員さんと調理器具・備品を準備しておけば問題はなかった。幼稚園の保護者、来年度入園を希望している保護者を混乱させ、驚愕させた本市教育委員会の責任は、誰一人責任を取ろうとしない。問題はないのか。</p> <p>2 中高一貫校の課題について、以下の点を問う。</p> <p>(1) 来年4月に中高一貫校が府立南陽高校に設置される。関西文化学術研究都市の中での6年間のカリキュラム授業と本市小学校授業・中学校授業に及ぼす教育課程の編成は、どのようなになるのか。</p> <p>(2) 学研都市では、企業誘致が叫ばれているが、生徒誘致の活動についてどう思われるか。</p> <p>(3) 英検準1級習得者の教員の確保と低学年の英語教育の対応はどうか。</p> <p>(4) 定員40名と聞いている。人口比率では80名が妥当と思うが、市教委は府教委に増員の要望はされたのか。</p> <p>3 小中学校および幼稚園の空調設備整備事業について、以下の点を問う。</p> <p>(1) PFI導入により、小中学校および幼稚園に空調設備整備事業を進めることになったが、対象教室479室と15年経過している63室の更新だけか。</p> <p>(2) 教室の空調の使用期間および夏と冬の設定温度はどうか。</p> <p>(3) 1年間の使用時間(1,000h・850h・780h)は。</p> <p>(4) 放課後の自習教室の使用時間は、午後8時までか。</p> <p>(5) 空調のコントロールは、教室でできるのか。</p>
質問事項	なぜ市役所・学校・学校給食センター等の事業系ごみを家庭系ごみとして処理していたのか
質問要旨	<p>1 広報きづがわ11月号で、事業系ごみの適正処理をお願いする記事がありました。市になってからのこの10年間、市役所・学校・学校給食センター等の公共施設から排出されるごみは、家庭系ごみに混ぜて処理がされてきました。市広報では、事業から出たごみは全て「事業系ごみ」で、家庭系ごみに出さないでください(不法投棄です)と記載されています。</p> <p>不法投棄を行政指導する立場の木津川市や地球環境の学習指導を行っている木津川市教育委員会は、不法投棄を10年以上行ってきたことになるが、各執行機関の管理責任者として、市民や児童生徒に不法投棄の説明やお詫び、また、責任を取られるのか、お聞きします。</p> <p>2 市役所をはじめ、公共施設等から排出された不法投棄の家庭系ごみの数値が、いまだに市民に示されないのは、なぜですか。</p> <p>3 燃やすごみ1人当たりの排出量など、広報で不法投棄としたごみデータを活用することをやめますか。</p> <p>4 京都府や環境省に報告されている「廃棄物処理実態調査」では、家庭系ごみとして集計されていました。「事業系ごみ」として、修正報告した文書を市民や生徒に対して、示しましたか。</p> <p>5 家庭系ごみ排出削減と再資源化のため、1～2年をめどに、市民の意識改革の減量効果を確認してから、市民とともに有料指定袋制導入について検討してはどうですか。</p>
質問事項	南加茂台地域都市再生プランの現状と課題
質問要旨	<p>南加茂台地域は、大阪労働者住宅生活協同組合により開発された新興住宅地であります。入居当初から保育所をはじめ、公民館・小学校・集会所などの一体型公共施設があり、また、生活・暮らしに必要な商店街・スーパー・銀行・郵便局などが南加茂台地域の中心に配置され、暮らしに快適で、潤いをもたらす地域です。しかし、南加茂台地域は、あと数年で高齢者人口が過半数の50%を超える見込みとなり、自治会本部や自治会幹事会で若い世代の夫婦を取り込むため、入居促進の</p>

質問要旨	<p>「自治会紹介パンフレット」を作成されました。近隣市町村の不動産会社にパンフレットを相談者に渡してもらい、その効果があつてか、若い入居者が少しずつ増加していました。その後、木津川市公共施設等総合管理計画・木津川市公立保育所民営化等実施計画が策定されましたが、その結果、南加茂台保育園の統廃合計画により、子育て支援No. 1の基本理念に合わない現象が起こり、現在では、入居者が鈍化傾向になってきました。</p> <p>「新入居者の意見」として、次の意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徒歩や自転車で送迎し、保育園に預けられると聞いていたが、できなくなる。 ・ 卒園した保育園だから子供も預けたい。 ・ 地域内の保育所だから入園したい。 ・ 共稼ぎ夫婦にとっては、時間を有効に使える。 <p>市は、保育サービスの維持、異世代交流を含む継続、一体型公共施設維持のためにも、南加茂台保育園の存続、再検討をしていただきたい。</p>
------	--

5 宮嶋 良造	
質問事項： 指定ごみ袋制度（ごみ有料化）提案を撤回せよ	
質問要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 合併前、指定ごみ袋制度を導入していた加茂地域において、合併後、燃やすごみ量は増えましたか。毎年のごみ量の総量と1人1日当たりのごみ量で答えてください。 2 市民1人当たりのごみの排出量は横ばいですか。 3 ごみ袋有料化を説明する資料に、平成28年度のごみ量が示されていないのはなぜですか。 4 紙類の減量には、何が必要ですか。また、生ごみの減量には、何が必要ですか。市民が実践できる具体的なやり方を示し、市が具体的な方法で援助すべきではないですか。それらが不十分のまま、有料化で減量するのは間違っていないですか。有料化は20%の減量効果があるといいますが、強制力でごみの分別方法が身につくのですか。 5 ごみ有料化による減量のやり方は市民を縛るもので、市民に依拠する分別でのごみ減量は相いれません。 6 前回の一般質問で、間違いを指摘した資料などの数値はすべて正されましたか。市が目指す燃やすごみの減量目標値は312g、廃プラごみは14gではないのですか。 7 市民が減量努力できない廃プラごみをなぜ「有料にする」燃やすごみと一緒にするのは、分別の徹底がごみ減量につながるのに、燃やすごみと廃プラごみを一緒にするのは、減量に逆行するのではないのですか。これまで通りの分別を行うべきです。 8 廃棄物減量等推進審議会の答申では、燃やすごみ以外の有料化は、今後の検討課題にしていますが、減量しにくいごみを有料化にするのは、減量が目的ではなく、市民に負担を強いる有料そのものが目的になるのではないのですか。 9 事業系ごみと家庭系ごみでは、どちらが増えているのですか。事業系ごみの増加が、環境負荷をもたらしているのではないのですか。 10 経済的弱者やまじめにごみ減量に努めている方に、全く配慮のない有料化の方法でいいのですか。紙おむつなど減量できないごみは他にありませんか。剪定枝、雑草など都市緑化に役立っているものを特段減免する必要はないと判断するのは、なぜですか。
質問事項： 国保税の値上げをやめよ	
質問要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 国保税率の見直しをするとこれまでから答弁されていますが、その根拠は何ですか。具体的に示してください。 2 保健事業費相当額を一般会計から繰り入れするのをやめるのですか。 3 来年度の保険税率の試算を明らかにしてください。
質問事項： 健康づくりを応援	
質問要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 公園に健康づくり遊具（器具）を設置してはどうですか。 2 遊歩道にベンチを設置してはどうですか。

平成29年第4回木津川市議会定例会（12月18日）

一般質問通告書

1 山本 和延	
質問事項： 河川の占用許可の現状と課題は	
質問要旨	<p>河川の占用許可の対象や占用料に対して、一元的な条例や要綱での取り組みが行われているのかを問う。</p> <p>(1) 占用許可を規定する法律は。</p> <p>(2) 占用許可の市の執行状況は。</p> <p>(3) 占用料について、他の市町と比較検討はしたのか。</p> <p>(4) 占用許可を行うにあたり、市の課題は。</p> <p>(5) 占用許可について、市としての今後の方針は。</p>
質問事項： 市営住宅の申し込み基準の見直しは	
質問要旨	<p>ライフスタイルや経済状況が変化する中、市営住宅の申し込み時の基準は、現在の市民の状況に対応できているのかを問う。</p> <p>(1) 市営住宅の申込者所得基準の見直しは。</p> <p>(2) 申込者の家族構成の配慮と今後見直しする考えは。</p>

2 長岡 一夫	
質問事項： 道路表示の取り組みは	
質問要旨	<p>市道の中央線、外側線、横断歩道、停止線、止まれの表示が、薄くなったり消えていたりしている。危険箇所から早急に改善すべきと思うが、市の取り組みは。</p>
質問事項： 山城木津郵便局の路上駐車への対応は	
質問要旨	<p>山城木津郵便局の駐車台数が少ないため、路上駐車や駐車待ちのため路上に並んで待っている車が、1年を通して多く見られる。特に、年末年始は市道での混雑が激しい。ましてや小学校・中学校・幼稚園・保育園の通学路となっており、地域の方々の通行の妨げになっている。地元地域から、平成25年に市に対して、要望書が出されているかと思うが、その後の経過と今後の交通安全上の取り組みは。</p>

3 尾崎 輝雄	
質問事項： 行財政改革について	
質問要旨	<p>平成28年度一般会計決算は、経常収支比率をはじめ、多くの財政指標が悪化した。現在、平成30年度予算編成方針を受けて、予算要求が行われていると思う。そこで、今定例会にもふれあい農園やプラネタリウム館の廃止条例が提出されているが、今後の行財政改革の取り組みについて問う。</p> <p>(1) 平成29年度と比較し、平成30年度の地方交付税の減額見込み額は。</p> <p>(2) 平成30年度予算要求にあたって、行財政改革の観点から、どのような取り組みをされたのか。</p> <p>(3) 平成30年度予算の編成にあたって、予算削減目標を設定したのか。</p>
質問事項： 市の観光事業について	
質問要旨	<p>合併して10年が経過した。日本の社会状況も大きく変わりつつある。市としても、いよいよ観光事業として、見えてきたものがあると思われる。木津川アートを中心とした各地域の活性化にも知恵が見出されるのではないかと。そこで、以下の点について、質問する。</p>

質問要旨	<p>(1) お茶の京都DMOについて、本市が期待していることは。</p> <p>(2) 今後の市の観光事業の方向性をどのように捉えているのか。</p> <p>(3) 市は、観光協会の役割について、どのように考えているのか。</p>
------	--

4 河口 靖子	
質問事項： 水道管の破裂・漏水事故時の対応は	
質問要旨	<p>木津川市は、市民が安心できる水を安定的かつ効率的に供給するため、浄水場や配水管などの整備を進めていることと思います。</p> <p>特に配水管は、敷設後の経過年数が耐用年数に達するものが発生してきており、老朽化が進んでいるといえます。</p> <p>このため、配水管更新事業計画として、下水道工事や道路整備工事等の関連工事に併せた更新事業を進めていくこととなっていますが、進捗状況が分かりにくいのが現状です。</p> <p>こうした中、昨今、各地域において大なり小なりの破裂・漏水事故が多発していますが、その対応や着工から復旧までの時間に問題があるのではないかと思います。</p> <p>このため、事故等が発生した場合の行動体制をしっかりと整える必要があります。</p> <p>さらに、予防対策として、漏水による事故を未然に防止するため、積極的に漏水防止対策に取り組んでいただきたいと思います。そのためには、計画的な漏水調査を行うなど、積極的な対策をお願いし、以下のことを問います。</p> <p>(1) 普段のパトロールはどうしているのか。</p> <p>(2) 緊急時の対応マニュアルは。</p> <p>(3) 改良工事の優先順位は。</p> <p>(4) 漏水事故の問題として、漏水調査の是非、二次災害、損害賠償は。</p> <p>(5) 事故の原因は。</p> <p>(6) 事故時の対応は。</p> <p>(7) 配水管更新事業計画の進捗状況は。</p>
質問事項： 市民に対する説明責任は	
質問要旨	<p>本年9月定例会に提案された議案の1つに、「ごみ袋の有料化」に伴う条例改正がありました。議会だより42号にも報告したとおり、継続審査となり、市民の方々のご意見を伺う機会として、市民と議会のつどいや、公聴会を開催したところです。その際には、得られた収益を活用して、具体的な施策が示されていないなど多くの声がありました。</p> <p>また、「幼稚園の給食の休止」についても、教育委員会の方針が二転三転するという事態となり、市民や議会が困惑する結果となりました。</p> <p>この2つに共通する点は、行政の市民に対する説明責任と検証方法に問題があると思います。そこで、以下のことを問います。</p> <p>(1) 公聴会での公述人6人の意見を踏まえて、ごみ袋の種類を増やす改善点とごみ袋有料化で得られた収益の具体的な施策は、どう考えているのか。</p> <p>(2) 幼稚園の給食提供休止の答弁が、二転三転した理由は何か。</p>

5 森岡 譲	
質問事項： 空屋対策のその後	
質問要旨	<p>平成26年11月に空家等対策の推進に関する特別措置法が公布されて3年が経過します。</p> <p>平成27年6月定例会での空き家対策の一般質問において「有効活用が可能な家き屋であるのか判断を進め、データベース化に取り組む準備をすすめている。今後、空き家に対する対策を進めていくために、対象地区や対策に関する基本的な方針、調査方法等の整理・検討を進めていく必要があると考えている」と答弁された。現在、空家等対策協議会を結成され、準備を進めておられるが、現在どこまで進んでいるのか。</p>

質問事項： 「母なる川」 木津川は泣いているパートⅡ	
質問 要 旨	<p>平成27年12月定例会の一般質問で、「賑わいのある木津川河川敷を取り戻す運動を進めて」との質問に、市は「平成26年3月に策定した木津川市緑の基本計画において、国道24号泉大橋周辺の河川敷エリアを市民が木津川に親しみ、市内外の交流が進むようなレクリエーション空間と位置付け、水辺生物とのふれあいや、木津川の本風景を目指した環境づくりを目標としており、水に親しむ空間の創造等の取り組みのイメージを検討することとしている」と答弁されたが、現在の見通しはどうか。</p> <p>また「木津川市にゆかりのある府下16市町村で、淀川上流域国営公園推進行政連絡会を結成して、泉大橋の周辺についても国営公園の設置を国に要望を行っていききたい」と答弁されたが、現在の進捗状況はどうか。</p>
質問事項： 災害に強いまちづくりを	
質問 要 旨	<p>台風21号の被害状況は、床上浸水1棟、床下浸水11棟、倉庫浸水5件、工場浸水1件であった。また、道路規制は、一部規制が14路線であった。</p> <p>床下浸水のうち、特に、南後背地域の雨水は、円度川、南後背川を経て、二ツ樋排水樋門へ流れ込んでいくが、現在の排水能力で十分なのか検証すべきだ。</p> <p>また、避難勧告で一部混乱があったようだが、もう一度しっかりとしたマニュアルの再構築が必要と考えるが、市の考えは。</p>

平成29年第4回木津川市議会定例会（12月19日）

一般質問通告書

1 島野 均	
質問事項： 台風21号の被害状況で今後の対策を問う	
質問要旨	<p>1 台風21号接近に伴う降雨により、床上浸水（加茂町大野）、床下浸水（木津神田、南後背、八ヶ坪）が発生した。内水対策は大丈夫か。</p> <p>2 府道天理加茂木津線（加茂町大野）の崩落対策は。</p> <p>3 山城町の西ノ口川の状況と川底の土砂をしゅんせつするなどの対策は。</p> <p>4 避難勧告・避難指示の発令は、適切であったのか。</p>
質問事項： 城山台地区の交通事故多発で今後の対策を問う	
質問要旨	<p>1 まち開き以来、城山台地区において、事故が多発しているが、交通事故は何件発生しているのか。また、カーブミラー、停止線、注意喚起の看板を充実させるべきでは。</p> <p>2 交通事故多発を受け、安心・安全まちづくりマップを作成し、啓発しては。</p>
質問事項： 待機児童の解消を	
質問要旨	<p>本市は今後も将来人口の増加が予想され、保育ニーズもあると思われる。今後、特に城山台地区を中心に人口が増えるため、待機児童について問う。</p> <p>(1) 予想される待機児童について、幼保連携型認定こども園の整備と「解消対策等ガイドライン」で対応できないのか。</p> <p>(2) 保育所、こども園等申し込みの簡素化はできないか。</p>

2 谷口 雄一	
質問事項： 市民参画の観点からまちづくり施策の推進を	
質問要旨	<p>現在、平成31年度スタートの第2次木津川市総合計画の策定に向け、審議会の開催や庁内ワーキングチームによる第1次総合計画の検証が行われています。</p> <p>計画の策定に際しての基本方針として、情報の共有や対話を通じた共通認識の下、市民との協働による計画づくりを進めるとされており、市民参画の観点が大変重要と考えます。</p> <p>市民に愛され、住み続けたいと思うまちづくり施策の推進を期待し、以下の質問をいたします。</p> <p>(1) まちづくりに関しては、市民や団体等から、さまざまな機会を通じて、多くの提言やアイデアが寄せられているが、どのような取り扱いとなっているのか。</p> <p>施策に活用するか否かの協議や、情報共有の仕組み、回覧や稟議の取り決めが必要と考えるが、整備されているのか。また、提案者に対して、評価の上で回答がなされているか。については、直近の2つの事案について対応を伺う。</p> <p>① 本年7月に開催された第2回空き家等対策協議会では、委員より、空き家の利活用促進対策に関連し、統計や写真を多用した具体的なまちづくり施策の提案があったが、どのような取り扱いとなるのか。</p> <p>② 11月には、山城青年会議所と南陽高校による、市の未来へ向けた、まちづくりに対する提言があったが、同じくどのような取り扱いとなるのか。</p> <p>(2) 11月28日に実施された第2回審議会において、まちづくりに関する中学生アンケート調査結果が示された。木津川市を「住みよいまち」「どちらかといえば住みよい」としたアンケート結果は、前回調査の4年前と比較して6.6ポイント減少し、「ずっと住み続けたい」「一時的に離れてもまた戻ってきて住みたい」との定住意識も10.2ポイント減少となった。</p> <p>市民参画の観点から、考慮すべき結果と思われるが、策定方針への影響はどうか。</p>

質問事項： 児童虐待の対策強化を	
質問 要 旨	<p>国の統計では、平成27年度に全国の児童相談所が対応した虐待通告件数は、10万件を超えました。子どもへの虐待に関する統計が初めて取られた平成2年度が1,101件とされており、実に100倍もの増加となっています。</p> <p>市においても通告件数の増加傾向が続いており、このたびの専用ダイヤルの開設は早期発見、早期対応に効果的な施策として評価しますが、さらなる対策強化が必要と考え、以下の質問をいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 専用ダイヤルを開設された経緯と、通告件数の推移は。 (2) 人間的な体制は万全か。また、児童相談所との連携はどうか。 (3) より対策を強化する方策として、児童相談所全国共通ダイヤル「189」の周知拡大や、郵便局と提携し、配達員による見守り協定の推進を検討しては。 (4) 何より発生予防策の徹底が重要と考えるが、具体的な取り組みは。また、発生後の子どもや保護者への支援策はどうか。

3 炭本 範子	
質問事項： ヘウゲモノあーと茶宴から	
質問 要 旨	<p>今年4月、「お茶の京都博」が、八幡市の背割堤を会場とした、さくら茶会から始まりました。木津川市においては、11月3日に「ヘウゲモノあーと茶宴 in みかの原」を開催しました。オシャレ感と上品さを感じましたが、一方で、「なんや分からへん」という声も聞きました。検証をしながら、今後につなげたいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 集客は3万人の想定であったが、実際の来客数は。 (2) 成果と課題は。 (3) 1年間の博を締めくくる「テイクオフパーティ」は、来年3月にアスピアやましろで開催予定であるが、内容なども含め、進捗状況は。 (4) お茶の京都博の目的は、美味しいお茶体験や交流を拡大しながら、茶葉の消費拡大を図るものであるが、今後どのように活かしていくのか。 (5) プレミアムブランド化も対策の1つとしているが、どう考えているのか。 (6) 千利休の弟子、古田織部が瓶原でお茶会をしたことはあまり知られていない。もう1つの観光資源としてどうしていくのか。また、PRなどの発信はどうする予定か。
質問事項： ニーズに応えられる図書館づくりを	
質問 要 旨	<p>図書館は、子どもたちの豊かな心を育み、地域住民の生涯にわたる学習の場として、利用されています。今、図書館に求められるものは何か。世の中の変化や要望に対して、できる限り応えていくことが必要と思います。</p> <p>そこで、次の6点について、伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 瓶原地域からの要望でもあるが、中央図書館・加茂図書館・山城図書館の休館日の統一と開館時間を午前9時30分に変更できないか。 (2) ヤングアダルト世代のために、自習できる部屋を確保すべきでは。 (3) 赤ちゃんを連れて安心して利用できるために、赤ちゃん室を設けては。 (4) お茶が飲めたりできる、少しくつろげるフリースペースの場所の確保はできないか。 (5) 中央図書館の移動図書館の巡回を広範囲にできないか。 (6) 新興住宅地に図書館がないが、どう考えているのか。

4 西山 幸千子	
質問事項： 加茂プラネタリウム館の存続を	
質問要旨	<p>木津川市の魅力は、自然と歴史・文化が、いつでも身近にあることだと思います。そして、それらはしっかりと守り伝えるべきものでもあります。そのような観点から、市の姿勢を問います。</p> <p>(1) 社会教育施設としての加茂プラネタリウム館の役割をどのように考えているのですか。</p> <p>(2) 平成23年度の事業仕分け後から現在まで、入場者を増やすために、市はどれだけの努力をしてきましたか。</p> <p>(3) 「老朽化した投影機などの改修費」の内訳は。</p> <p>(4) プラネタリウム館職員（嘱託・臨職含む）に廃止をいつ伝えましたか。また、政策決定までの間に、館の職員と相談・協議をしましたか。</p>
質問事項： 害虫駆除に補助金を	
質問要旨	<p>私たちの周りには、人間に危険を及ぼす害虫がたくさんいます。今年はニュースで「ヒアリ」が話題になったところです。</p> <p>そして、愛媛県では今年9月に、車いすの高齢者がスズメバチに襲われて死亡するという痛ましい事件があり、そのニュースにあらためて驚きと恐怖を感じました。</p> <p>(1) 今後は、各地で広がっていく恐れのあるヒアリ対策をどう考えていますか。</p> <p>(2) セアカゴケグモ対策は。</p> <p>(3) スズメバチなどの対応はどうですか。</p>
質問事項： 北陸新幹線は不要	
質問要旨	<p>昨年の7月からJR加茂駅の「みどりの窓口」が廃止となり、窓口無人化の時間が設定されました。その際に、JR西日本からは、券売機で十分対応できるとの説明でした。</p> <p>しかし、今年4月の入学式の頃には、新入生が通学定期を購入するのに長時間待たされ、JR加茂駅だけでなく、JR木津駅でも混乱しました。</p> <p>また、JR奈良線は単線のため、線路に竹などが倒れかかるだけでも、運休や遅延が起こります。市民の多くが、JRの複線化や利便性の向上を望んでいる中で、本当に北陸新幹線が必要でしょうか。</p> <p>市長の認識を問います。</p> <p>(1) 北陸新幹線は、木津川市民の交通の利便性を向上させるとは思いますか。</p> <p>(2) 新駅ができた場合に、市の負担はありますか。</p> <p>(3) 全国でも新幹線が通ることで、在来線がJRから切り離されて、多くが第三セクター運営になっています。木津川市も影響を受けるのではありませんか。</p>

5 片岡 廣	
質問事項： 国道24号と国道163号の重複区間について	
質問要旨	<p>国道24号線は、京都から奈良を結び、国道163号線は大阪から三重を結ぶ重要な路線である。その中で、上狛四丁目交差点から木津大谷交差点までが重複区間となっており、この間で発生している慢性的な渋滞の緩和を目的に、中央地区の開発と一体となって、延長0.6kmのバイパス道路の整備に着手する。</p> <p>この区間には、問題点が山積しており、市の考え方を問う。</p> <p>(1) 供用開始から約65年を迎える泉大橋の橋台8基のうち、右岸の山城地域側3基の橋脚の耐震補強が取り残されている。また、橋面のひび割れ、区画線も消えている状況である。市として、強く要望を行っているのか。</p> <p>(2) 井関川橋の取り換え工事に伴い、迂回路工事が行われる。大谷交差点への影響と通過する車両の安全確保は守られるのか。</p> <p>(3) バイパス道路工事が進められているが、構造について国との協議内容を問う。また、国は道路構造について、幅16mの2車線（両側歩道）を計画していると聞いているが、どうか。</p> <p>(4) 国および市として、城山台地域の住民への説明は、行っているのか。</p>

質問事項： 気象災害について

質問
要
旨

地球温暖化の影響により、秋も深まってから台風21号、22号が接近し、府南部地域では大変な大雨となり、市内でも各地で河川や道路の被害が発生しました。今回の台風は、それほど強い台風ではなかったものの、なかなか進路が決まらず台風の数も緩やかであったため、大きな災害を引き起こすことになりました。

本市には、木津川を始め天井川などの河川が数多く、大雨への対策が必要です。気圧が低いスーパー台風が、最悪のコースで府南部を縦断した場合、木津川流域でも、現在の基本高水流量の倍くらいの流量が出る試算もあります。

そこで、市の気象災害対策の取り組みについて、伺います。

- (1) 気候モデルにより、チェックおよび試算はされていますか。
- (2) 地域の行動のシミュレーションおよび場所のリスクの計算は行われていますか。
- (3) 幹線道路および河川の危険箇所のリストは策定していますか。
- (4) 各関係機関との情報共有は万全ですか。
- (5) 市の緊急対応に関する体制は万全ですか。